

## 第 22 回 静岡市ものづくり産業振興審議会 会議録

- 1 開催日時 平成 30 年 9 月 3 日（月） 午前 10 時 00 分～午後 12 時 00 分
- 2 開催場所 静岡市清水産業・情報プラザ
- 3 出席者 **【委員】**  
山内会長、鳥羽副会長、井野委員（㈱丹青社）、小澤委員、上妻委員、杉山委員、前田委員、牧野委員、望月（磨）委員、山下委員  
**【事務局】**  
池田経済局長、青嶋参与兼産業振興課長、山本地場産業担当課長兼係長、桐野主幹兼工業振興係長、頭師主幹兼副主幹、松田主査、寺田主任主事（産業政策課）竹澤主任主事
- 4 傍聴者 一般傍聴者 なし 新聞記者 なし

### 5 開 会 （事務局：青嶋参与兼産業振興課長）

定刻となりましたので、第 22 回静岡市ものづくり産業振興審議会を開催いたします。

さて、お手元の次第に従いまして、会議を進めていきたいと思っております。まず、会議を始める前の確認事項といたしまして、3 点お知らせいたします。本日は、松岡委員、望月有希子委員から、所用のため欠席するとのご連絡をいただいておりますが、その他の皆様にはご出席をいただいておりますので、静岡市ものづくり産業振興条例施行規則第 6 条第 2 項、「審議会は、委員の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない」との規定により、本日の審議会が成立していることをご報告いたします。2 点目としては、会議の「公開」であります。静岡市では、「附属機関等の設置及び運営に関する指針」に基づきまして、ものづくり審議会を含めた附属機関の会議は、原則公開となっております。本日の会議については、非公開事項となるものを含んでおりませんので、公開としたいと思っておりますが、皆様、よろしいでしょうか。

### 【各委員】 了承

（事務局：青嶋参与兼産業振興課長）

それでは、公開といたします。

また、審議の経過等によりまして、非公開とすべき事項が生じた場合には、その都度、その旨を皆様にご決定いただくこととなりますので、よろしくお願いたします。

3 点目としては、「会議録」についても公開となりますので、事務局で会議録を作成し、

会長と他委員1名のご署名をいただいて、公開の手続きを行いたいと思います。会長以外の署名人としては、山下委員にお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか？

【山下委員】 了承

(事務局：青嶋参与兼産業振興課長)

ありがとうございます。

次に「会長あいさつ」といたしまして、山内会長様からご挨拶賜りたいと思います。

山内会長、お願いします。

【会長あいさつ】 山内会長

皆様、本日は大変ご多忙の中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。

本日は、事務局から「第3次静岡市ものづくり産業振興基本計画（以下、「第3次基本計画」という。）の登載事業（案）」について説明があるということですので、皆様には忌憚のないご意見をお聞かせいただければと思います。本日は、どうぞよろしくお願ひいたします。

(事務局：青嶋参与兼産業振興課長)

ありがとうございました。

続きまして、静岡市経済局長の池田からご挨拶申し上げます。池田経済局長、よろしくお願ひします。

【池田経済局長あいさつ】 池田経済局長

本日はお足元の悪い中、また大変お忙しい中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。

皆様には昨年の11月、条例の規定に基づき、第3次基本計画の策定に関して諮問をさせていただきます。

7月18日に開催した前回の審議会で「第3次基本計画の方向性（案）」についてご議論をいただき、概ね計画の骨格は固まってきたのではないかと感じております。本日は、前回の会議までに皆様からいただいた御意見を踏まえ、計画に登載する事業案についてお示しし、骨格への肉付けをしていきたいと考えておりますので、委員の皆様のご専門的知見に基づく御意見等をお伺いしたいと考えております。本日はどうぞよろしくお願ひいたします。

(事務局：青嶋参与兼産業振興課長)

ありがとうございました。

それでは、さっそく議事に移りたいと思います。

今回の議事進行については、ものづくり産業振興条例施行規定第5条第3項、「会長は、

審議会の会議の議長となる」との規定によりまして、山内会長に進行をお願いしたいと思います。山内会長、よろしくお願いいたします。

【山内会長】

それでは、本日はお手元の次第の「4 議事（1）第3次基本計画の登載事業（案）」について、事務局より説明いただき、その後で皆様で議論したいと思っております。

それでは、事務局より説明をお願いします。

（事務局：桐野主幹兼工業振興係長）

それでは、事務局から説明させていただきます。

本日の審議会では、資料1～3を使用しますので、お手元の資料をご確認ください。

資料1の中ほどにあります6つの方針については、日本経済の現状と課題、国・県の産業経済支援策、第3次静岡市総合計画、第2次静岡市産業振興プランの方針等に加えて、工業統計に基づく本市の産業構造や企業・団体等へのヒアリング結果を踏まえて検討した内容を、前回の審議会でご議論いただき、概ねご承認いただいたものを記載しております。

本日は、この6つの方針に基づく計21の事業についてご説明させていただき、皆様にご審議いただきたいと存じます。

さて、個別の事業のご説明に入る前に、前回の審議会にて委員の皆様より伺ったご意見の中から、2点ほどご説明させていただきたい内容があります。

1点目は、外国人の受け入れ・活用に関する市の施策等についてです。本市では、今現在市内に住んでいる外国人や、今後市内に居住する外国人が暮らしやすいまちづくりを目指す「共生社会の実現」についての取り組みは実施しているものの、外国人を市外から積極的に受け入れる施策・考えについては、現状ありません。

また、外国人の雇用の観点からも、積極的に受け入れをするための施策等は現状ありません。企業等の人材不足の問題については、この後ご説明する「事業10 生産性向上に取り組む中小企業への支援」「事業13 企業OB人材等の活用」「事業18 多様な人材の就労に対する支援」等の事業の中で、若者、女性、高齢者、障がい者などの雇用を促進することで解決を図りたいと考えておりますので、御理解いただければ幸いです。

2点目は、義務教育期間の子どもたちに対する学力強化施策等についてです。「ゆとり教育」という言葉自体はマスコミが作り出した言葉であり、国として「ゆとり教育を実施する」という方針を打ち出しているわけではないということをご理解いただければと存じますが、静岡市では、文部科学省が制定している学習指導要領に基づいた教育施策に加えて、学力だけではなく思考力のある子を育てるため、「静岡市型35人以下学級」「静岡市型小中一貫教育」「しずおか学」「英語力の向上」など、本市独自の取り組みを実施しています。

以上の2点につきましては、第3次基本計画に具体的な施策として登載することは難しいと考えておりますが、静岡市としては、ただ今ご説明したとおりの考え方で推進して参り

ますので、御理解いただければ幸いです。

続きまして、資料の2及び資料3をご覧ください。資料2は、6つの方針に紐づけられている各事業の概要を記載したものです。資料3は、資料2に記載した事業の中から、第3次基本計画の方針案を検討する際に参考にした「4つの視点」に対応する主な事業を抽出したものです。

また、事業名の後ろに「★」が付けられているものは、第2次ものづくり産業振興基本計画（以下、「第2次基本計画」という。）に登載されていなかった事業で、新たに登載する事業、または第2次基本計画に登載されていた事業を拡充して登載する事業です。

本日は、「★」が付いている事業を中心に説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。

（以下、資料2及び資料3により説明）

事務局からの説明は以上でございます。会長、よろしくお願いいたします。

#### 【山内会長】

ありがとうございました。

ただ今の事務局の説明について、皆様からご意見を伺いたいと思います。事業数が多いため、議論が分散しないよう、資料2のページごとに質疑応答を進めたいと思います。

それでは1ページ目についてですが、まずは私から質問したいと思います。

事業3にあります「地域経済牽引事業」とはどういったものなのか、ご説明をお願いしたいと思います。

（事務局：桐野主幹兼工業振興係長）

「地域経済牽引事業」とは、地域未来促進法に基づく事業です。この事業は、地域の特性を活かして高い付加価値を創出し、地域の事業者に対する経済的波及効果が期待される地域の中核企業が行う事業のことです。

「地域経済牽引事業」として承認されるためには、本市が指定する9つの分野に該当することが要件の1つとなります。9つの分野とは、具体的には「食品・ヘルスケア」「成長ものづくり」「先端加工技術」「木工関連・地場産業」「物流関連」「観光・交流」「6次産業化」「文化・クリエイティブ産業」「情報通信・専門サービス関連」のことを指します。

#### 【山内会長】

ありがとうございました。

それでは、1ページ目に記載されている事業について、ご意見・ご質問等がありますか。

### 【山下委員】

事業1の説明文の中に、「清水港・ロジスティクス」というキーワードがありますが、駿河湾フェリーは、駿河湾を横断して伊豆半島及び静岡市エリアの産地と消費地を結びつける役割もあると思うので、駿河湾フェリーの運航に対する市のお考えを聞かせていただきたい。

また、事業2では「東名新スマートIC」について触れていますが、スマートICは全長12m以下などの制約があったり、スマートICへのアクセス道路が不便であると聞いたことがあります。新スマートICの周辺を「工業・物流エリア」と位置付けるためには、大型トレーラー等が通れるようにする必要があると思いますが、この辺りについてどのようにお考えですか。

(事務局：桐野主幹兼工業振興係長)

駿河湾フェリーの運航については、運航主体のエスパルスドリームフェリーの親会社である鈴与(株)が平成31年3月末をもって事業撤退することがわかり、平成31年4月以降の運航は県が支援することが発表されたところです。駿河湾フェリーの事業継続については、県の他に本市を含む3市3町が連携して運営する方向で調整しています。山下委員がおっしゃった地場産品を運搬する物流という観点から第3次基本計画へ掲載するかどうかについては、今後検討したいと存じます。

また、スマートICの制約等については、都市局へ確認します。

### 【山内会長】

その他にご意見等がないようでしたら、次に移りたいと思います。

2ページ目に記載されている事業について、ご意見・ご質問等がありますか。

### 【牧野委員】

事業5の首都圏におけるプロモーション強化について、内容に異論はありませんが、事業実施においてお願いしたいことがあります。内容をみると、アンテナショップ開設事業等、3つの柱が記載されており、いずれも消費者の意見を聞くことができる貴重な機会です。事業実施においては、PDCAサイクルを意識し、プロモーション事業で得られた消費者の意見等がメーカー等に反映されるような仕組みを構築してほしいと思います。

(事務局：桐野主幹兼工業振興係長)

ご指摘いただきありがとうございます。

牧野委員のおっしゃる通り、首都圏におけるプロモーション事業で得られた意見等がフィードバックできるようにしていきたいと存じます。

### 【山内会長】

その他にご意見等がないようでしたら、次に移りたいと思います。

3ページ目に記載されている事業について、まずは私から質問したいと思います。

事業7に記載されている「**FOOD TAIPEI** 出展」について、どのように実施しているのかお聞きしたいと思います。

(事務局：桐野主幹兼工業振興係長)

台湾には、日本食レストランが約1万件あり、日本の食材に対する需要が高い地域であると考えられます。**FOOD TAIPEI**は、原材料や加工品等、幅広い分野の食料品が出展する大規模な食品見本市であり、本市の特産品等をPRすることにより、販路拡大に繋げていきたいと考えております。

(事務局：産業政策課 竹澤主任主事)

補足させていただきます。この事業は、市内の食品製造業者に対し公募で出展者を募っており、平成29年度は2社が出展しました。数十件の商談を行い、成約に繋がった案件もあると報告を受けております。**FOOD TAIPEI**は、世界各国から6万人を超える参観者が訪れる大規模な見本市ですので、この出展を通して本市特産品等の販路拡大に繋げていきたいと考えております。

### 【鳥羽副会長】

事業6の地場産品の販路開拓・販売促進について、3つ事業が記載されていますが、私も参加していますので、その立場から申し上げますと、こういった毎年実施している取組については、「販売促進」という観点からはとても効果がある取組であると感じております。

一方で、私が以前、従来とは違う漆の商品を開発した際に、従来の販路ではなかなか思うように売れないという経験をしたことがあります。そういった経験から申し上げますと、事業6に記載されている3つの事業は、「販路開拓」という観点からは成果が出にくいように感じますので、「販路開拓」に資する事業を少し検討いただけたらと思います。

(事務局：山本地場産業担当課長兼係長)

おっしゃるとおり、事業6は現状「販売促進」の意味合いが強い内容となっています。「販路開拓」と「販売促進」の線引きは難しいとは思いますが、「販路開拓」についても今後研究していきたいと思っております。

### 【山内会長】

その他にご意見等がないようでしたら、次に移りたいと思います。

4ページ目に記載されている事業について、まずは私から質問したいと思います。

事業9の産業財産権出願に対する助成について、これまでの実績を教えてください。

(事務局：桐野主幹兼工業振興係長)

毎年、20～30件程度申請があり、補助金という形で交付しております。

【山内会長】

ありがとうございました。他にご意見・ご質問等がありますか。

【前田委員】

事業8の新商品開発等に対する支援のうち、デザイナー等とのコラボレーションに対する支援がありますが、マッチングしたデザイナーへの費用的な支援はあるのでしょうか。

(事務局：頭師主幹兼副主幹)

デザイナーと事業所のマッチングが成立した際には、デザイナーへは委託料という形でデザイン料をお支払いしています。また、開発商品の販売状況を見ながら、デザイナーとロイヤリティ契約を結んでもらうという形で事業を進めております。

【山内会長】

その他にご意見等がないようでしたら、次に移りたいと思います。

5ページ目に記載されている事業について、ご意見・ご質問等がありますか。

【上妻委員】

5ページ目に記載されている事業で、2点申し上げたいと思います。

1点目は、事業10の生産性向上に取り組む中小企業への支援について、人材不足が叫ばれている今、生産性の向上は静岡市だけに限らず、全国的に非常に大事な問題です。その解決策の一つとして外国人の雇用という方法もやむを得ないとは思いますが、外国人の雇用については様々な問題が伴う可能性がありますので、なるべく生産性を上げてカバーする必要があると考えています。

ITやIoTについては、毎日のように新聞等で報道され、今や「バズワード」となっているため、第3次基本計画でも触れなければいけないということは理解できますが、具体的にどういった支援ができるかと言われれば、よくわからないというのが実情です。

そこで、以前もご提案したRPAの導入についての支援を実施すべきだと考えています。どのようなメーカーでも、必ず事務ワークは発生します。この事務ワークの合理化、ロボット化を進めることにより、生産性の向上が見込めると考えています。

ただし、我々が直接支援することは難しいため、直接的な支援はコンサルティング業者のような専門家をお願いし、市には企業と専門家の橋渡しをしてほしいと思います。

また、企業は RPA を導入するとなぜ良いのかイメージが沸かず、その必要性を感じにくいのではないかと思いますので、実際に導入した企業ではどういったメリットがあり、導入にどのくらいの費用がかかるのかなど、事例を紹介して PR してほしいと思います。

2 点目は、事業 13 の企業 OB 人材等の活用についてです。先日、市が主催で開催した「新現役交流会」を拝見し、ぜひこういったマッチングの取り組みは継続してほしいと思いますが、その手前の段階として、企業 OB 人材等の「人材バンク」を作してほしいと思います。企業単独では、どこにどんな人材がいるか把握するのは非常に難しいです。「人材バンク」には、例えば「板金加工に強い」「プラスチック加工に強い」など、その人材がどのようなスキルを持っているのかを含めて掲載し、閲覧できるようにすることで、各企業が必要とする人材を探し出すことができます。

その後で、先日の「新現役交流会」等のマッチングの場を設け、報酬額の協議等を含め、最終的に契約となるところまでサポートするような仕組みづくりの支援をしてほしいと思います。

#### 【山内会長】

上妻委員のご意見に 1 点付け加えたいと思います。

「IT、IoT」の活用検討や、「AI、IoT」の活用・支援など、表現が統一されていないように感じますので、全体的に整理が必要かと思います。

(事務局：桐野主幹兼工業振興係長)

上妻委員よりご意見のあった IT、IoT の活用検討については、中小企業庁が実施したアンケートにおいて「導入の効果が分からない」という意見が約半数に上ったことから、導入の必要性が実感できない企業が多いことがわかります。具体的な事例を各企業に紹介し、PR、啓発を行うとともに、専門家への橋渡しをすることが市の役割であると考えております。

また、山内会長よりご意見のあった「IT、IoT」や「AI、IoT」など、表現の統一については今後整理していきたいと思います。

次に、企業 OB 人材等の活用について、本年度開催した「新現役交流会」では、約 1,600 人の企業 OB 人材等が登録されている関東経済産業局の「マネジメントメンターデータベース」を活用しました。経営課題を持つ企業と、専門的なスキルを持つ新現役の方とをいかにうまくマッチングできるかが重要となりますが、「新現役交流会」の開催にあたっては、(一社)新現役交流会サポートの方にアドバイザーに就任いただき、マッチングのサポートをお願いしました。

上妻委員のおっしゃる独自の人材バンクを作ることも含め、制度設計については改善の余地がありますので、今後事業を進めていくうえで、検討していきたいと考えております。

【山内会長】

その他にご意見等がないようでしたら、次に移りたいと思います。

6 ページ目に記載されている事業について、まずは私から質問したいと思います。

事業 16 の地場産品の情報発信・愛用推進で「駿府匠宿」について触れていますが、子どもを対象とした市の施設には、他にも「静岡市こどもクリエイティブタウンま・あ・る」や「静岡科学館る・く・る」などがあります。私は両施設の館長と親しくしており、いろいろと情報交換などをしてきましたが、施設運営におけるコストパフォーマンスについて議論したことがあります。単純な方法ではありますが、施設運営にかかっている費用を入場者数で割ると、入場者 1 人当たりにかかるコストが算出されます。前述の施設は両者とも入場者数が増加しているため、その分入場者 1 人当たりにかかるコストは減り、コストパフォーマンスが良くなります。

私も駿府匠宿に行ったことはありますが、このあたりの事情がどのようになっているか知らないため、お聞きしたいと思います。

(事務局：山本地場産業担当課長兼係長)

「駿府匠宿」の入場者数の推移は、直近 10 か年で見ますと、平成 24 年度の 30 万人をピークにやや右肩下がりで推移しており、平成 29 年度は 24 万 3 千人でした。

また、年間にかかる費用については、「駿府匠宿」は指定管理制度で運営をしており、平成 29 年度については 2 億 5 百万円の費用がかかっています。

1 人当たりにかかるコストを山内会長のおっしゃる方法で算出しますと、843 円となります。

今後の「駿府匠宿」の在り方については、平成 29 年度包括外部監査や平成 30 年 2 月議会の中でも指摘されており、ただ今新しい公共経営、すなわち民間経営の拡大を視野に入れ、検討を進めているところです。

【山下委員】

事業 14 の中小企業等の表彰事業について、先ほど口頭では表彰されることのメリットのご説明がありましたが、文章として記載した方が具体的で理解が得られやすいかと思いますが、いかがでしょうか。

(事務局：桐野主幹兼工業振興係長)

ご指摘ありがとうございます。文章として記載するようにしたいと思います。

【山内会長】

その他にご意見等がないようでしたら、次に移りたいと思います。

時間も迫ってまいりましたので、7、8 ページ目に記載されている事業についてのご意

見・ご質問等を伺いたいと思います。

#### 【上妻委員】

事業 17 のものづくり体験・学習機会の提供のうち、プログラミング教育推進事業について、具体的な取り組み内容は決まっているのでしょうか。

現在は一言で子ども用のプログラミング教材と言っても、たくさん種類があります。有名なところだと「IchigoJam (イチゴジャム)」や「Raspberry Pi (ラズベリーパイ)」などです。子どもは少し教えると驚くほどのスピードで成長しますので、高度な内容を教えることもできるよう、先を見据えて汎用性の高いシステムを教材として使用すると良いのではないかと思います。

(事務局：桐野主幹兼工業振興係長)

プログラミング教育推進事業は教育委員会で実施する事業です。ヒアリングしたところでは、市内のメーカーからプログラミング教材を調達するなど、ある程度具体的に決まっていると聞いておりますが、上妻委員からのご意見は教育委員会へ情報提供したいと思いません。

#### 【前田委員】

事業 18 の多様な人材の就労に対する支援のうち、2点質問があります。

1点目は首都圏の女子学生を対象とした就労支援について、その対象はものづくり産業の業種に限られるのでしょうか。

2点目は、女性の活躍を考えるうえで、子育て中の女性が働きやすい環境の整備は非常に重要だと思いますが、そういった観点での施策は何か考えているのでしょうか。

(事務局：桐野主幹兼工業振興係長)

1点目の首都圏の女子学生を対象とした就労支援に関するご質問ですが、製造現場の方だけではなく、事務の方や、サービス業等の他の業種も対象となっています。この事業は、市内でいきいきと活躍している女性と、首都圏に進学した女子学生とが交流する場を設けることで、市内企業への就職を促すことを目的としています。

2点目の女性が働きやすい環境整備への支援については、資料 2 には掲載していませんが、本市としては当然に支援すべき施策として認識し、以前より取り組んでおります。今後、第 3 次基本計画に登載するかどうか検討していきたいと思いません。

#### 【山内会長】

時間も迫ってまいりましたので、最後の 9 ページ目に記載されている事業についてのご意見・ご質問等を伺いたいと思います。

【小澤委員】

事業 21 の伝統工芸技術の保存・継承のうち、地域おこし協力隊による「井川メンパ」の保存・伝承がありますが、関連して1点申し上げますと、5 ページ目に記載されている事業 11 の事業承継に対する支援について、この事業承継支援事業は本年度、静岡市から委託を受け、8月から本格的に稼働しています。

静岡商工会議所内には、中小企業庁が取り組む事業承継支援ネットワーク構築のための支援拠点として、「静岡県事業承継ネットワーク事務局」が置かれました。

6月に「静岡県事業承継ネットワークキックオフ全体会議」を開催した際、全国から地域おこし協力隊の方が参加されましたので、井川メンパに留まらず、市内の残すべき技術や産業を事業承継により次の世代へ繋いでいく取り組みの一環として、地域おこし協力隊との連携についても検討いただけたらと思います。

(事務局：桐野主幹兼工業振興係長)

事業 11 の事業承継に対する支援の中でも地域おこし協力隊に関連する内容を含めるかどうか検討していきたいと思います。

【山内会長】

まだまだご質問はあるかと思いますが、お時間となりましたので本日の審議会は終了としたいと思います。

本日ご発言いただいた以外にご意見等がありましたら、事務局へメール等で連絡したいと思いますが、よろしいでしょうか。

(事務局：桐野主幹兼工業振興係長)

承知しました。

(事務局：青嶋参与兼産業振興課長)

委員の皆様、長時間のご議論ありがとうございました。

先ほど会長もおっしゃいましたが、ご意見等がございましたら、事務局あてにご連絡ください。

次回の審議会は、平成 31 年 1 月下旬ごろを予定しておりますので、日程については追って調整させていただきたいと思います。

それでは、以上をもちまして、本日の審議会を終了させていただきます。本日は、長時間ありがとうございました。

本会議録は、平成30年9月3日開催の「第22回静岡市ものづくり産業振興審議会」の  
会議内容と同一であることを証する。

署名人 会 長

委 員